

令和2年度地方独立行政法人神奈川県立病院機構の決算概要について

令和2年度決算は、収益面では、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来患者が減少し、医業収益が前年比23億円減少した。一方、費用面では、給与費を前年度より抑制したほか、入院・外来患者の減少に伴う材料費の減により、医業費用が8億1,500万円減少した結果、医業損益は14億8,400万円悪化した。

また、新型コロナウイルス対応のため、実施できなかった業務があったことから運営費負担金を一部返還したが、国や県による空床補償等の補助金により減収が補填されたことで、最終的な総利益は35億6,700万円となり、経常収支比率の年度目標を達成することができた。

1 決算額比較（税抜き）

（単位 百万円）

区分	令和2年度の 年度計画（収支）	令和2年度	令和元年度	比較（2-元）	
				増減額	比率(%)
収益計 (A)=(B+C+D)	62,676	64,427	60,810	3,618	105.9
営業収益 (B)	61,669	63,738	59,953	3,785	106.3
うち医業収益 (a)	50,802	46,525	48,826	△ 2,300	95.3
うち運営費負担金	10,267	9,088	10,464	△ 1,376	86.9
うち補助金等	125	7,538	145	7,393	5,198.6
営業外収益 (C)	1,007	689	857	△ 167	80.4
臨時利益 (D)	0	0	0	0	-
費用計 (E)=(F+G+H)	63,420	60,860	61,251	△ 391	99.4
営業費用 (F)	62,548	59,942	60,415	△ 473	99.2
うち医業費用 (b)	59,312	56,705	57,521	△ 815	98.6
営業外費用 (G)	764	833	785	48	106.1
臨時損失 (H)	108	85	51	34	166.7
医業損益 (a) - (b)	△ 8,510	△ 10,180	△ 8,695	△ 1,484	-
経常損益 (B+C) - (F+G)	△ 636	3,652	△ 389	4,042	-
総損益 (A) - (E)	△ 744	3,567	△ 440	4,008	-

（注）計数は百万円未満切捨てのため符合しない。

【参考】令和2年度経営指標

	年度計画	実績
経常収支比率	99.0%以上	106.0%
医業収支比率	85.7%以上	82.0%
医業収益に対する給与費率	58.0%以下	60.9%
給与費等負荷率	100.0%以下	108.0%

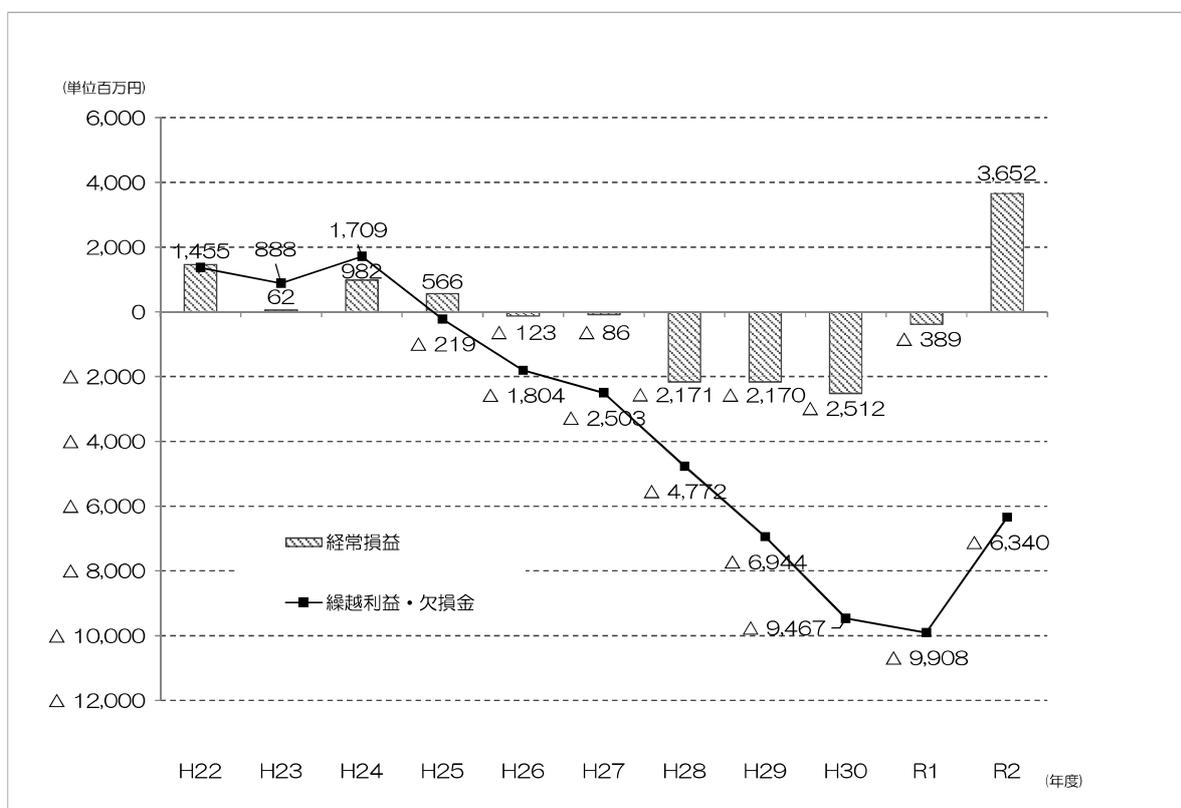
2 病院別損益の状況（税抜き）

（単位 百万円）

		合 計	足柄上病院	こども医療 センター	精神医療 センター	がんセンター (病院)	がんセンター (重粒子)	循環器呼吸器病 センター	本部事務局
経常 損益	元年度	△ 389	△ 767	△ 157	53	777	△ 102	247	△ 440
	2年度	3,652	964	103	409	1,269	△ 210	1,624	△ 507
	増減	4,042	1,731	261	356	491	△ 107	1,376	△ 66
総 損益	元年度	△ 440	△ 769	△ 178	52	775	△ 102	223	△ 441
	2年度	3,567	956	102	408	1,239	△ 210	1,578	△ 507
	増減	4,008	1,725	281	356	463	△ 107	1,355	△ 66

（注）計数は百万円未満切捨てのため符合しない。

経常損益と繰越利益・欠損金の推移



過去5カ年の経営状況

（単位 百万円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医業損益	△ 10,188	△ 9,708	△ 10,384	△ 8,695	△ 10,180
経常損益	△ 2,171	△ 2,170	△ 2,512	△ 389	3,652
総損益	△ 2,268	△ 2,172	△ 2,522	△ 440	3,567

※百万円未満切捨て